

5 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(五枚のうち一)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

□一 あとの問一〜問七に答えなさい。

問一 次のア〜オの読みをそれぞれ平仮名で書きなさい。

- ア 貫名菘翁    イ 綴葉装    ウ 若溪詩卷    エ 三極    オ 澄泥硯

問二 次のア〜オは、書道に関連のある語です。それぞれの説明を簡潔に書きなさい。

- ア 朱文印    イ 狼毫    ウ 宿墨    エ 避諱    オ 側款

問三 次のア〜オは、書道に関連のある語の説明です。それぞれ何について述べたものか書きなさい。

- ア 後漢・永元十二年に許慎が著した中国最古の字書。  
イ 鑑賞用として古筆切を折帖に貼り付け仕立てたもの。  
ウ 臨書学習の一方法。主として古典の筆意や情勢を写意的に学ぶ方法。  
エ 人差し指一本を掛けるだけで筆を持つ方法。  
オ 点画を段階に分けて書くこと。起筆・送筆・収筆のこと。

問四 次の図版①〜⑤に書かれている文字を、それぞれ常用漢字の字体で書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。
-----------------------

問五 「高野切」について、次のア・イに答えなさい。

ア 次の文章は、「高野切」について述べたものです。文章中の a c に当てはまる語をそれぞれ書きなさい。

「高野切」は、 a の現存最古の写本である。後世に断簡が高野山に伝わったことから「高野切」の名があるが、もとは序と全二十巻を書写した b であつたと考えられる。十一世紀半ば頃に三人の名人が分担揮毫した c で、それぞれの書風を第一種、第二種、第三種とよびならわしている。

イ 「高野切」にはどのような料紙が用いられていますか。簡潔に書きなさい。

5 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(五枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問六 次の図版①は、「高野切第一種」の一部、図版②は、「高野切第三種」の一部です。あとのア～エに答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ア 図版①の中から詞書の部分を抜き出し、書かれている字の読みを平仮名で書きなさい。
- イ 図版①・図版②の書風の特徴をそれぞれ簡潔に書きなさい。
- ウ 図版②の和歌の内容を書きなさい。
- エ 次の図版③・図版④は、図版①・図版②の一部をそれぞれ拡大したものです。それぞれの仮名について、字源を楷書で書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問七 次のア・イに答えなさい。

- ア 次の文章は、元の陳繹曾の「翰林要訣」の一節です。この文章の内容を簡潔に書きなさい。  
字生於墨、墨生於水。水者字之血也。

- イ 次の文は、明の董其昌の「画禅室随筆」の一節です。この文の内容を簡潔に書きなさい。  
古人神氣淋漓翰墨間、妙处在隨意所如、自成体勢。

5 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(五枚のうち三)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

二 次の図版①は、「李柏尺牘稿」の一部、図版②は、「鄭義下碑」の一部です。「書道Ⅰ」において、図版①及び図版②に基づいた臨書活動を行い、その後、創作活動を行うこととします。創作活動では、それぞれの図版を踏まえて、「大海」の語を表現させることとします。図版の特徴を生かして、どのような表現をさせることが考えられますか。それぞれの図版の特徴を明らかにした上で、図版を踏まえた表現の意図及び表現の工夫を書きなさい。なお、表現の工夫については、用具・用材、字形、線質、墨色、全体の構成の五つの観点に触れて書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

5 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(五枚のうち四)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

三 「書道 I」において、次の「祭姪稿」の図版及び釈文を用いて、平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 芸術 書道 I 内容 A 表現 (2)漢字の書 ア「ア」古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成」、ウ「イ」古典の線質、字形や構成を生かした表現」、B 鑑賞 (1)鑑賞 イ「イ」線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり」を取り扱う授業を四時間で行うこととします。図版の書跡及び釈文をもとに、鑑賞、臨書の学習指導を行う場合、どのような単元を設定しますか。単元の評価規準と学習活動をそれぞれ具体的に書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

--

5

高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(五枚のうち五)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

四 平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 芸術 書道Ⅰ 内容 A 表現 (3) 仮名の書 には、「仮名の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」と示されています。ウ (イ) 連綿と単体、線質や字形を生かした表現」の技能を身に付けさせるためには、どのようなことを指導することが大切ですか。「連綿の学習」と「単体の学習」について、それぞれ簡潔に書きなさい。



5

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(五枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号						解答欄
問七		問六				
イ	ア	エ ③	ウ	イ ②	ア ①	
		④				

5

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(五枚のうち三)

受験番号	
氏名	

問題番号			解答欄
表現の工夫 (用具・用材, 字形, 線質, 墨色, 全体の構成)	表現の意図	図版の特徴	
			図版①
			図版②



5

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(五枚のうち四)

受験番号
氏名

問題番号			解答欄	
三				
	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価規準				
	学習活動			
第1時				
第2時				
第3時				
第4時				

5

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(五枚のうち五)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

四		問題番号
単体の学習	連綿の学習	解答欄